

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	T X 駅周辺放置自転車防止対策事業			会計	款	項	目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課				
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	T X 3 駅周辺における放置自転車等	意図	放置自転車の撲滅。
事業内容	・ T X 3 駅周辺の放置自転車に対し、移送警告書の貼付け、一時保管場所への移送及び放置自転車防止のための啓発活動等を業務委託する。			
事業開始から現在までの状況変化	・ 平成17年T X 開業以降、年々駅利用者が増加するなか、必然的に自転車利用者も増加してきている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		放置自転車台数（T X 線沿線3駅）	366	310	434	台	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						・ 放置自転車対策については、委託業務により一定の事業効果は達成できるものの、年々増加する駅利用者並びに自転車利用者への自転車駐車場確保は需要供給バランスによるものと考察するが、駅周辺では高収益土地活用が自転車駐車場設置の弊害となっている。 階層式導入などで収容台数の確保に努めるとともに、今後も土地所有者等との間で長期使用対応等できるように努めたい。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,545,755	10,991,357	12,603,020			
事業費（b）（円）		8,847,055	9,133,557	9,352,420			
うち一般財源		8,847,055	9,133,557	9,352,420			
職員給与費(c)(円)		698,700	1,857,800	3,250,600			
人役・職員(人)		0.10	0.20	0.40			
人役・再任用(人)			0.20	0.10			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	・ 関係団体と連携し、駅前放置自転車クリーンキャンペーン等の啓発を継続することにより放置自転車の防止を図る。
今年度(H27)に実施した取組	・ 駅前放置自転車クリーンキャンペーン等を実施、啓発を行った。

取組の課題	・ 南流山駅周辺の放置自転車がT X 沿線3駅の中では多いため、恒常的に自転車が放置される箇所については重点的な対策を行う必要がある。
今後の改善計画	・ 継続して関係団体と連携し、駅前放置自転車クリーンキャンペーン等の啓発を継続することにより放置自転車の防止を図る。